



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治

クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 宍戸秀隆

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<https://www.nishio-rotary.org>

【本日のプログラム】

司 会 杉田武男例会運営委員長

斉 唱 「我等の生業」

食 事 ぼわそん

スピーカー (有)ジャスティス 代表取締役社長 藤野直子様 (名古屋名東RC)

「愛知子ども応援プロジェクトについて」～子どもの貧困・教育格差をなくすために～

【会長挨拶】



自動運転はレベル1からレベル5まであります。レベル2までが運転手に責任があるというものです。スバルのアイサイトや日産は自動運転ではなく運転補助で、責任はドライバーにあり、レベル3の自動運転はまだ世界で2車種、ベンツのSクラスとホンダの生産終了したレジェンドのみです。レベル3は限られた条件の中で自動運転できるというものです。高速道路の渋滞時に時速50キロ以下、3Dのしっかりとした地図があるような条件下に限ります。中国やアメリカではレベル4の車の実験走行が始まっています。日本でもバスの高速運転やトラック運転などでレベル4の導入に向けた実験走行が動き出しています。これからどんどん人手不足が深刻になっていきます。バスやトラックの24年問題など運転手が足らなくなる中で、レベル4の自動運転が進めば、人手不足解消の動きが進展するのではと期待を込めていますが、日本では当面先になるかと思えます。取り組みとしては60カ所以上の申請が出ており、レベル4の実験走行の段階に入っているの、興味がある方は調べてみると良いと思います。

【委員会報告】

〈出席委員会〉本多 淳委員長

本日の出席数 52名

欠席数 13名

出席率 80%

〈スマイルボックス委員会〉谷崎直樹委員長

藤野直子様(名古屋名東RC) スマイルを頂きました。

朝岡 正君 ジャスティス 代表取締役社長 藤野直子様、今日は卓話よろしくお願ひします。

4/4 結婚記念日にお花が届きました。有難うございました。

松田茂治君 藤野さん ようこそ西尾RCへ。宜しくお願ひ致します。

結婚記念日のお花ありがとうございました。

小笠原正秀君 ジャスティス 代表取締役社長 藤野直子様、ようこそ西尾ロータリーへお越し下さいました。ロータリー財団セミナーでは大変お世話になりました。子供応援プロジェクトの話とても楽しみです。

岩瀬淳治君 藤野様 本日はお忙しい所ありがとうございます。卓話を楽しみにしていました。宜しくお願ひします。

天野 卓君 久しぶりに夫婦で旅行して来ました。修学旅行以来の日光はお天気に恵まれました。

谷崎直樹君 石川哲朗さん、有難うございました！

藤野様、本日の卓話楽しみにしています！

岩瀬正広君 遠山さんご栄転おめでとうございました。淋しい限りです。岡田後任支店長これから宜しくお願ひします。

杉田明弘君 岩崎智一くん、宮古島トライアスロン完走おめでとうございました。体力は憧れです。

岩崎智一君 週末に宮古島トライアスロンに参加し、お陰様で完走いたしました。明後日くらいに筋肉痛の予定です。有難うございました。



【卓話】

(有)ジャスティス 代表取締役社長 藤野直子様 (名古屋名東RC)
「愛知子ども応援プロジェクトについて」

～子どもの貧困・教育格差をなくすために～



愛知子ども応援プロジェクトは、1人も取り残さない社会を目指して活動しています。子どもと周囲の大人や地域社会全体が豊かになるための活動を行うことが理念です。子どもの貧困は家庭の貧困です。したがって、子どもとその家族、そして地域社会全体が豊かにならなければ、子どもたちの幸せは実現できないという考えに基づいて、食糧支援、学習支援、進学支援、就業支援などの活動を行っています。直接子ども食堂を運営するわけではなく、愛知県内で400件以上の子ども食堂が存在している中で、志高く活動している地域の方々に対して後方支援を行っています。このプロジェクトには約240団体が登録しており、子ども食堂・学習支援団体、1人暮らし支援団体、高齢者支援団体などが日々協力して活動しています。また、貧困についても取り組んでおり、相対的貧困率を用いてその度合いを評価しています。相対的貧困は、文化水準や生活水準と比較して困窮した状態かどうかを考慮します。具体的には世帯の可処分所得を計算し、その中央値を取ります。この中央値の半分を貧困ラインとし、それ以下で暮らす家庭の割合を相対的貧困率と呼びます。2022年の国民生活基礎調査によれば、日本の相対的貧困率は15.4%であり、子どもの貧困率は12.5%です。特に1人親世帯の子どもの貧困率は44.5%と高い水準にあります。改善の余地はあるものの、まだまだ多くの子どもたちが貧困状態にあることを考慮すると、支援活動の重要性が浮き彫りになります。一方で、相対的貧困率や子どもの貧困率には反映されない、ギリギリで一生懸命子育てをしている方々も多く存在しています。彼らの存在を忘れずに、私たちは支援の必要性を理解し、共に社会を支えていくべきです。相対的貧困率や貧困率に入ってしまうご家庭では、さまざまな困難な状況が生じています。1つ目は経済的な困難です。世帯の収入が低いと、十分な食品を購入することが難しく、栄養不足に陥ります。また貧困家庭では虐待やネグレクト、育児放棄が起きることがあります。2つ目は教育への影響です。十分な教育を受ける機会が制限されます。親の経済的に厳しい状況が子どもの進学や就職にも影響を及ぼします。3つ目は社会的孤立です。低収入で生活しているため、孤立感や孤独感が増します。このような状況は子どもの世代にも連鎖していくことがあります。次に子どもの学力と世帯収入の関係についても、調査の結果によると世帯収入が低いほど子どもの学力も低くなる傾向があります。私立学校や塾に通うことができるのは親の経済的な余裕がある場合です。このような状況が、教育格差を引き起こしています。

脳科学の世界では、非認知能力という概念が注目されて研究されています。認知能力はIQやテストで測定できる能力であり、非認知能力は内面の力を指します。非認知能力には忍耐力、自信、自己認識、協調性、コミュニケーション能力などが含まれていると言われています。非認知能力を育てるためには、幼少期が重要です。脳が柔軟であるうちに、楽しい経験や幸せな思いをさせてあげることが大切です。逆に、幼少期から否定的な環境で育った子どもは脳が萎縮してしまうことがあります。そのため、子どもたちには幸せな思いをさせて、非認知能力を育てるサポートが必要です。幼稚園や小中学生の時、貧困状況から自力で抜け出すことは難しいと考えられます。子どもは自分の家庭を世界と捉えており、学校や家庭以外の第3の居場所が必要です。このような環境を整えることで、子どもたちの非認知能力を育て、幸せな人生を送るサポートをすることが重要です。第3の居場所が必要ということでここからは子ども食堂の話をしていきます。子ども食堂は、いろんな環境のお子さんに無料で食事を提供しています。お子さんだけでなく、親子連れやお年寄りも利用できる場所であり、安心して過ごせる居場所を提供しています。最近では、子ども食堂という名前ではなく、地域の食堂などといった名前を付けて立ち上げるケースも増えています。食堂では、ボランティアの方が宿題を見たり、大学生や大学院生が受験勉強を無料で教えたりするなど、様々な形で教育に取り組んでいます。しかし子ども食堂には様々な課題があります。開設のハードルは低いですが、継続が困難。場所・資金・ボランティア・食材の確保。食物アレルギー対策・衛生管理。子ども同士の事故などへの保険加入。支援を必要としているお子さんや保護者への情報提供などがあげられます。2017年8月に、私は子ども食堂・学習支援団体の運営者を後方支援するため、名古屋名東ロータリークラブに地域社会共同隊(RCC)を結成しました。私が最も大切にしているのは、支援を提供することで家庭のつながりを継続させることです。そのつながりを通じて、子どもたちの成長を見守り、必要な支援を提供しています。私は常に、子ども食堂の方々や学習支援団体の方々に対して、様々な支援を集めるようお願いしています。また、女性の支援にも力を入れており、進学支援や診療支援などを行っています。どんな環境に生まれ育っても、自分の足で人生を切り開いていけるよう、これからもお手伝いを続けていきたいと考えています。